



## 平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月3日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 嶋津 忠彦 TEL 053-452-2141  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	90,278	8.9	18,209	14.2	19,300	17.8	13,036	19.9
26年9月期第3四半期	82,912	11.0	15,946	30.2	16,384	24.2	10,872	26.9

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 16,314百万円 (36.2%) 26年9月期第3四半期 11,976百万円 (△13.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	81.08	—
26年9月期第3四半期	67.62	—

※平成27年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年9月期第3四半期	228,896	177,873	77.4
26年9月期	215,412	168,815	78.1

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 177,236百万円 26年9月期 168,274百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	25.00	—	30.00	55.00
27年9月期	—	30.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	16.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※平成27年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成27年9月期(予想)の期末の1株当たり配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成27年9月期(予想)の期末の1株当たり配当金は32円00銭となります。

### 3. 平成27年9月期の連結業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	124,300	10.9	25,200	16.3	26,100	15.8	18,300	20.7	113.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※平成27年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成27年9月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の平成27年9月期の1株当たり当期純利益は227円63銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年9月期3Q	167,529,968株	26年9月期	167,529,968株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	6,743,619株	26年9月期	6,741,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年9月期3Q	160,788,005株	26年9月期3Q	160,789,216株

※平成27年4月1日付で、1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、国内におきましては、企業収益の改善に加え、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復が持続いたしました。しかしながら、海外におきましては、欧州における債務問題や新興国経済の成長減速への懸念などがあり、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況におきまして、当社グループは、長年培ってきた当社独自の光技術を活かした研究開発並びに顧客ニーズに応えた製品開発を推進する一方で、将来に向けた積極的な設備投資を継続することで、売上高、利益の増加に努力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は90,278百万円と前年同期に比べ7,366百万円(8.9%)の増加となりました。また、利益面につきましても、営業利益は18,209百万円と前年同期に比べ2,263百万円(14.2%)の増加、経常利益は19,300百万円と前年同期に比べ2,915百万円(17.8%)の増加、四半期純利益は13,036百万円と前年同期に比べ2,163百万円(19.9%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## [電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきまして、血液分析などの検体検査装置向けの売上げが、国内外における需要が高まるなか、その高感度、高速応答特性を評価されて順調に推移いたしました。また、PETなどの核医学検査装置向けの売上げも堅調に推移いたしました。

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源が、インライン用途を中心にその高い信頼性・安定性を評価され、欧州及び国内において売上げを伸ばしました。また、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジンや大型パネルを高精度に接着するUV-LED光源の売上げも増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は36,785百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は13,865百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

## [光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、主力のシリコンフォトダイオードの売上げが海外において大幅に増加したほか、産業用ロボット等の制御などFA(ファクトリーオートメーション)分野におけるフォトICやLEDの売上げも増加いたしました。また、自動車の車内ネットワーク通信用のフォトICの売上げも増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は39,170百万円(前年同期比7.2%増)、営業利益は12,454百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

## [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、半導体故障解析装置の売上げがアジア地域や国内における需要拡大を受け引き続き好調に推移したほか、デジタルカメラも顧客ニーズに応えた高速・低ノイズなどの高い性能を評価され、生命科学やバイオ分野を中心に売上げを伸ばしました。さらにX線ラインセンサカメラの売上げも食品検査用を中心に堅調に推移いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は11,359百万円(前年同期比15.1%増)、営業利益は2,508百万円(前年同期比68.7%増)となりました。

## [その他事業]

主に半導体レーザー事業及びホテル事業等であります。

当セグメント(その他)の売上高は2,963百万円(前年同期比16.9%増)、営業利益は167百万円(前年同期比38.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、たな卸資産が2,392百万円、受取手形及び売掛金が2,010百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ5,690百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、製造工場の新築に伴う建物及び構築物の増加により、有形固定資産が5,811百万円増加したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ7,794百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13,484百万円増加し、228,896百万円となりました。

流動負債の主な変動は、1年内返済予定の長期借入金が3,004百万円減少したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,551百万円減少しております。

固定負債の主な変動は、会計方針の変更に伴い、退職給付に係る負債が4,010百万円、長期借入金2,946百万円それぞれ増加したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ6,977百万円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ4,426百万円増加し、51,023百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が5,797百万円増加したほか、為替換算調整勘定が3,235百万円増加したことなどから、当第3四半期連結会計期間末の純資産は前連結会計年度末に比べ9,057百万円増加し、177,873百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月11日付で公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル=115円、1ユーロ=135円を想定しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率を使用する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が3,694百万円増加し、利益剰余金が2,407百万円減少しております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	83,758	84,049
受取手形及び売掛金	25,956	27,967
商品及び製品	6,726	7,081
仕掛品	13,802	15,710
原材料及び貯蔵品	6,349	6,479
その他	6,496	7,506
貸倒引当金	△143	△156
流動資産合計	142,947	148,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,544	31,034
機械装置及び運搬具(純額)	7,811	11,538
工具、器具及び備品(純額)	3,202	3,590
土地	15,897	16,288
リース資産(純額)	129	182
建設仮勘定	11,037	4,802
有形固定資産合計	61,623	67,435
無形固定資産	1,735	1,725
投資その他の資産		
投資有価証券	2,621	2,604
繰延税金資産	5,168	6,560
その他	1,333	1,951
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	9,105	11,097
固定資産合計	72,464	80,258
資産合計	215,412	228,896
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,033	5,064
電子記録債務	7,946	8,558
短期借入金	1,733	1,868
1年内返済予定の長期借入金	3,179	175
未払法人税等	4,133	2,447
賞与引当金	3,735	4,955
その他	10,283	10,424
流動負債合計	36,046	33,495

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	3,904	6,850
退職給付に係る負債	4,830	8,841
その他	1,814	1,835
<b>固定負債合計</b>	<b>10,550</b>	<b>17,528</b>
負債合計	46,596	51,023
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672
利益剰余金	101,278	107,075
自己株式	△6,050	△6,059
<b>株主資本合計</b>	<b>164,828</b>	<b>170,616</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	695	655
為替換算調整勘定	1,589	4,825
退職給付に係る調整累計額	1,160	1,139
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>3,445</b>	<b>6,619</b>
<b>少数株主持分</b>	<b>541</b>	<b>636</b>
<b>純資産合計</b>	<b>168,815</b>	<b>177,873</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>215,412</b>	<b>228,896</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	82,912	90,278
売上原価	39,399	42,781
売上総利益	43,513	47,496
販売費及び一般管理費	27,566	29,286
営業利益	15,946	18,209
営業外収益		
受取利息	146	129
投資不動産賃貸料	63	69
為替差益	29	626
持分法による投資利益	50	71
その他	291	353
営業外収益合計	582	1,250
営業外費用		
支払利息	64	75
不動産賃貸費用	56	56
その他	23	28
営業外費用合計	144	160
経常利益	16,384	19,300
特別利益		
固定資産売却益	5	69
補助金収入	2	241
特別利益合計	7	311
特別損失		
固定資産売却損	3	12
固定資産除却損	39	43
固定資産圧縮損	2	241
投資有価証券評価損	3	1
子会社株式売却損	—	3
特別損失合計	49	302
税金等調整前四半期純利益	16,343	19,308
法人税等	5,447	6,234
少数株主損益調整前四半期純利益	10,895	13,074
少数株主利益	23	37
四半期純利益	10,872	13,036



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,895	13,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△40
為替換算調整勘定	1,063	3,272
退職給付に係る調整額	—	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	1	29
その他の包括利益合計	1,081	3,240
四半期包括利益	11,976	16,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,942	16,210
少数株主に係る四半期包括利益	34	104

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	33,974	36,536	9,866	80,377	2,534	82,912	—	82,912
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	974	541	35	1,551	684	2,235	△2,235	—
計	34,949	37,078	9,901	81,929	3,219	85,148	△2,235	82,912
セグメント利益	12,616	12,238	1,486	26,341	272	26,613	△10,666	15,946

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△10,666百万円には、セグメント間取引消去△852百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,813百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	36,785	39,170	11,359	87,315	2,963	90,278	—	90,278
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	894	717	9	1,622	726	2,348	△2,348	—
計	37,679	39,888	11,369	88,937	3,690	92,627	△2,348	90,278
セグメント利益	13,865	12,454	2,508	28,828	167	28,995	△10,785	18,209

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザー事業及びホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△10,785百万円には、セグメント間取引消去△914百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△9,871百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。